

平成22年度中小企業金融実態調査結果概要

平成22年8月18日
富山県商工会連合会

・調査目的

県下商工会地区における小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

・調査対象および方法

商工会地区の中小企業（特に小規模事業者）のうち、1150企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

・調査時期および実施期間

調査書記入時点	平成22年7月1日 現在
調査実施期間	平成22年7月5日～7月16日

・回答状況

調査対象企業数	1150社
回答企業数	1055社（回収率91.7%）

・調査結果の概要

売上高の増加企業の割合及び採算面の黒字企業の割合が増加しており、一部に業績の改善傾向が見られる。本年10月～12月の資金繰りでは、苦しくなると予想した企業の割合が低下する一方で変わらないと予想する割合が増加した。苦しくなる原因は、売上高予定額未達、利益予定額の未達を挙げる割合が多く、「借入返済額大きい」を苦しくなる原因と捉える割合は増加傾向にある。

今後1年間に借入計画があるとする企業の割合は26.4%と前回調査対比で2.6ポイント減少している。設備資金は「車両等の購入」「製造機器・ラインの増設」は増加しているが、「工場・店舗等の補修・改修」は低下し、投資内容を選別しており営業方針に苦慮している傾向が見られる。

借入金の条件変更難易度については「容易である」「交渉次第で何とかなる」の回答は、13.2ポイント増加し、金融円滑化法の施行を受け難易度は低下している。

制度融資の借入については、最近1年間に保証協会付で借入した企業の割合は前回調査対比で低下した。円滑に融資が受けられた企業の割合が増加し、金融機関の審査が厳しくなったと回答した割合が減少しているが、企業の新規融資への慎重な姿勢が窺われる。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点（前回21年7月調査時点との比較）

1．企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高については、増加した企業の割合が、前回は2.7ポイント増加し、減少した企業の割合は2.5ポイント減少した。採算状況については、黒字企業が7.3ポイント増加し、赤字企業が、5.5ポイント減少した。
- (2) ここ1年間に、元請等との取引条件の変更状況は、30.6%の企業が元請等との取引条件に変更があり、業種では建設業、運輸業の順で多く見られた。
- (3) 10～12月の資金繰り予想では、苦しくなるは13.3ポイント減少し39.5%と19年度の水準になった。楽になるは2.9ポイント上昇し、資金繰りは改善傾向にある。苦しくなる業種では、運輸業、卸売業の順で高い。苦しくなる要因として、「売上高予定額未達」と「利益が予定に達しない」の割合が圧倒的に高く、前回調査に続き共に50%を超えている。「借入返済額が大きい」は増加傾向にあり、21.1%に達した。

2．金融機関との取引及び借入状況について

- (1) 最近6ヶ月間の借入申し込みは、7.5ポイント減少し2年振りに50%を下回った。また借入額では、前回調査より1000万円未満で4.1ポイント増加し、3000万円～5000万円未満で3.3ポイント減少した。また5000万円超の借入企業は前回は1.7ポイント減少し、階層によって二極化している。また借入なしの企業は2.2ポイント増加し、直近5年間ではもっとも高くなった。
借入金利については、「借入金利2%未満」の層は、11.3ポイント増加し25.2%に達した。また3%超では0.2ポイント減少している。
借入に対する満足度については、満足と回答した企業の割合は83.5%であり、前回対比で4.2ポイント増加し、不満の回答は4.6ポイント減少した。
- (2) 預金は、昨年6月に比べ増加した企業が7.4ポイント増え、減少した企業は6.5ポイント減少した。要因として、前回と比較した採算状況が「好転した」と回答した企業の割合は5.1ポイント増加し、「悪化した」企業は13.3ポイント低下していることに起因している。
- (3) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が2.9ポイント減少したが、未だ25.6%の企業に及んでいる。「貸し渋り」の内容は「金額査定減」が前回調査比で34.0ポイント増加し81.4%に達している。次いで「保証協会の付保」「追加融資不可」の順に多くいずれも50%を超えている。
- (4) 借入返済の条件変更は、「希望する」企業が2.2ポイント減少している。
希望する条件変更は「返済期間の延長」「長期資金への切替」「元金返済の一時据置（猶予）」の順に多い。

- (5) 借りにくい、借りられない理由では、「業績が思わしくない」「借入残高が多い」とする回答が前回比較でそれぞれ3.4ポイント増加し、2項目が40%を超えて理由の主な要因となっている。
- (6) 今後の借入計画(1年間)では、「ある」と回答した企業は2.6ポイント減少し、「ない」と回答した企業は3.9ポイント増加した。うち設備資金では、「車両等の購入」「製造機器・ラインの増設」が増加するなどの前向きな動きが一部見られる。
- (7) 借入を考える場合の懸念事項においては、「借入後の返済力」は前回調査比で32.3ポイント増加し、97.5%に達した。次いで「業況の先行見通し難」が81.7%と2項目は引続き多く見られた。
- (8) 経営が著しく悪化した場合の相談先に41.7%の企業が「商工会」を挙げており、次に26.6%が「民間の金融機関」、15.5%が「税理士」の順となっている。

3. 制度融資について

- (1) 制度融資の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は2.2ポイント減少し、「利用がない」は5.2ポイント増加した。
制度融資について、融資条件の緩和や手続きの簡素化、保証料の軽減を求め等々の意見が前回同様に寄せられている。
- (2) 国や県、市町村の融資制度は、「経営の役に立っている」と回答した企業は97.5%を占めた。一方で「利用しなかった理由」として、「利用する必要ない」が4.8ポイント増加した。
- (3) 国や県・市の制度利用は、共に「今後活用を検討している」の割合が低下しており、今後の借入計画で「ない」が増加していることに裏付けられる。

4. 最近の諸制度について

- (1) マル経融資のメリットについては22年2月の融資制度拡充を受け、設備資金を利用した場合の「金利低減」に対して27.0%と高い回答をした。
- (2) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入した以降、最近1年間に保証協会付を利用した割合は、前回比較で4.9ポイント減少した。「円滑に保証をうけられた」は74.5%、「少し難しかった」は21.2%、「円滑でなく難しかった」は3.5%と回答している。

金融機関の態度の変化については、「あまり変化はなかった」は8.5ポイント増加して60.1%、「従来よりも提出書類が増え、融資実行まで時間を要するようになった」は4.2ポイント減少して22.7%、「金融機関の審査が厳しくなった」は3.4ポイント減少し13.9%と回答している。金融機関の融資態度に変化が窺える。

調査結果(% = 構成比)

1 回答企業の概要

(1) 業種

建設業	23.9%	飲食・宿泊業	8.8%
製造業	19.6	サービス業	16.7
卸売業	2.3	運輸業	2.8
小売業	24.0	その他	1.8

(2) 創業してから何年

2年未満	1.0%	20年未満	8.6%
5年未満	3.9	30年未満	17.3
10年未満	6.7	50年未満	32.3
15年未満	8.2	50年以上	21.9

(3) 常用従業員数

0人	32.1%	6~10人	11.3%
1人	15.9	11~15人	4.8
2人	8.3	16~20人	2.3
3~5人	19.5	21人以上	5.7

(4) 年間売上高

500万円未満	5.5%
500~1000万円未満	14.1
1000~3000万円未満	31.0
3000~5000万円未満	15.0
5000~1億円未満	14.6
1億円以上~	
1億5000万円未満	7.4
1億5000万円以上	12.2
未記入	0.2

2 営業の状況

(1) 年間売上高の増減率(対前年同期比)

年間売上高の増加企業は、全体で27.2%となり前回調査より2.7ポイント増加した。これを業種別に見ると、卸売業で33.4%が増加と回答。さらに規模別では、21人以上、16~20人、3~5人の順で増加率が高い。

売上減少は全体で71.9%となり前回調査に比べ2.5ポイント減少した。業種別にみると、運輸業、小売業の順で減少率が高い。従業員規模では、0人、6~10人の規模で減少率が高くなっている。

年間売上高の増減率		22年	21年	20年
増 加	5%未満	11.9%	11.9%	14.4%
	5~10%未満	8.3	6.1	9.2
	10~20%未満	4.3	3.9	6.1
	20%以上	2.7	2.6	3.5
	計	27.2	24.5	33.2
減 少	5%未満	21.0	19.1	20.5
	5~10%未満	22.0	23.1	21.2
	10~20%未満	14.5	15.2	15.3
	20%以上	14.4	17.0	8.3
	計	71.9	74.4	65.4

(2) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品販売先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況は、65.6%があまり変化はなかったと回答。一方で30.6%の企業がなんらかの取引条件の変更を強いられていると回答しているが、21年比較では3.5ポイント減少した。

変更状況	22年	21年	20年
納期の短縮、支払サイトの変更等あった	3.6%	4.7%	5.2%
元請等から受注価格の引き下げがあった	19.9	18.3	14.0
商品販売先から価格の引き上げがあった	7.1	11.1	18.6
あまり変化はなかった	65.6	61.3	55.9

(3) 採算の状況

ア、現在の採算状況

黒字企業が27.3%と前回から7.3ポイント増加した。赤字企業は、33.1%と5.5ポイント減少し、採算状況は前回より改善している。

黒字企業を業種別にみると、飲食・宿泊業、サービス業の順で高く、赤字企業では卸売業、運輸業、建設業の順で採算状況が厳しい。

また従業員別での黒字企業は、21人以上、2人、3~5人の順で高く、赤字

企業は、6～10人、16～20人、11～15人の順で比率が高い。

現在の採算状況	22年	21年	20年
黒字	27.3%	20.0%	23.3%
赤字	33.1	38.6	32.8
収支トントン	38.6	39.9	42.8

イ、採算状況（対前回比較）

採算状況を前回と比較すると、好転したが5.1ポイント増加し、悪化した
13.3ポイント低下し、採算状況の改善が進んでいる。業種別では、製造業、
サービス業の順で好転がみられる。

採算状況	22年	21年	20年
好転した	11.7%	6.6%	6.7%
悪化した	43.7	57.0	51.1

(4) 資金繰り状況

ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より13.3ポイント減
少し、3年振りに40%を下回った。「変わらない」が9ポイント増加して38.
7%。「楽になる」は前回より2.9ポイント増加した。資金繰りが改善すると予
想する企業の割合が高く、業績への回復期待を抱いている。

「苦しくなる」を業種別でみると、運輸業、卸売業で50%を超えている。

今年10～12月の資金繰り	22年	21年	20年
大変苦しくなる	7.2%	11.6%	8.8%
苦しくなる	32.3	41.2	40.5
計	39.5	52.8	49.3
変わらない	38.7	29.7	33.8
楽になる	3.7	0.8	0.8
計	42.4	30.5	34.6
わからない	16.5	15.1	14.1

イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予定額に達しない」と「売上利益が予定に達しな
い」

の割合が圧倒的に高く、前年に続きともに50%を超えている。

「借入返済額大きい」は1.6ポイント増加して21.1ポイントになる。

（2つの複数回答）

苦しくなる原因	22年	21年	20年
売上予定額未達	74.6%	75.7%	61.5%

売上利益予定未達	51.1	53.3	55.8
手形受領多い	0.7	0.9	1.2
手形期日長期化	0.0	1.3	1.2
金融機関借入不円滑	7.0	8.8	5.6
借入返済額大きい	21.1	19.5	17.5
在庫増大	3.4	3.1	1.6
売上代金回収悪い	6.0	4.9	7.2
焦付き・貸倒れ発生	2.6	1.3	2.5
経費の増大	11.0	13.2	30.2
その他	1.4	1.8	2.5

その他には、先行投資をするため・受注（仕事量）が少ない・利用客の激減等があった。

3 金融機関との取引状況 等

(1) 本年6月末預金高はどれくらいありましたか

前年と比較すると、500万円未満が2.8ポイント増加し、500万円超が1.6ポイント減少している。

預金高	22年	21年	20年
100万円未満	23.0%	20.4%	18.6%
100～300万円未満	23.9	25.1	23.4
300～500万円未満	16.2	14.8	13.7
500～1000万円未満	13.3	16.0	13.6
1000～3000万円未満	13.8	12.4	13.5
3000～5000万円未満	3.3	3.6	5.5
5000万円～1億円未満	3.5	2.4	4.2
1億円以上	0.9	2.0	3.8

(2) 昨年の6月と比べ預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。

増加したと回答した企業は7.4ポイント増加し31.9%。減少したと回答した企業は6.5ポイント減少し65.7%。増加した業種では、卸売業、製造業が40%を超えている。

	22年	21年	20年
増 加 5%未満	19.9%	12.5%	12.8%
5～10%未満	6.4	6.3	4.8
10～15%未満	1.5	1.9	1.7
15～20%未満	1.4	1.0	1.0
20%以上	2.7	2.8	4.3
計	31.9	24.5	24.6

減少	5%未満	30.0	28.3	29.9
	5～10%未満	18.5	18.4	18.6
	10～15%未満	5.6	8.8	7.9
	15～20%未満	2.7	4.4	4.1
	20%以上	8.9	12.3	10.2
	計	65.7	72.2	70.7

(3) 今年6月末の借入額

前回より1000万円未満で4.1ポイント増加し、3000万円～5000万円未満で3.3ポイント減少した。また5000万円超では、前回比1.7ポイント減少し階層によって二極化している。

また、借入なしの企業は2.2ポイント増加し15.6%になり、直近5年間で最も高くなる。

借入額	22年	21年	20年
300万円未満	20.3%	15.1%	13.7%
300～500万円	8.7	9.1	9.0
500～1000万円	12.0	12.7	10.7
1000～3000万円	20.0	22.5	18.8
3000～5000万円	10.2	11.0	10.4
5000～1億円未満	7.2	7.5	9.5
1億円以上	4.5	5.9	9.3
なし	15.6	13.4	15.1

(4) 現在の借入先(多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行が1.5ポイント、信用金庫が1.0ポイント、日本政策金融公庫は2.3ポイント減少している。

その他は、消費者ローン、信販会社、カード会社、個人、代表取締役等があった。

現在の借入先	22年	21年	20年
普通銀行	76.1%	77.6%	82.4%
信用金庫	37.7	38.7	39.1
信用組合	10.8	9.1	8.4
日本政策金融公庫(旧国金)	36.8	41.8	41.3
日本政策金融公庫(旧中小公庫)	9.6	6.9	5.4
商工中金	1.9	2.8	3.5
農協	4.7	5.2	4.0
その他	2.7	3.3	4.0

(5) 借入額は(昨年12月頃に比べて)

「増えた」27.6%、「減った」44.3%、「変わらず」27.4%となり、「増えた」が12.3ポイント減少し、「減った」が10.4ポイント「変わらず」が1.4ポイントそれぞれ増加した。

「増えた」企業は、業種では運輸業、建設業、製造業の順になっている。

「減った」企業は、飲食・宿泊業、サービス業の順になっている。

借入額は	22年	21年	20年
増えた	27.6%	39.9%	33.2%
減った	44.3	33.9	35.6
変わらず	27.4	26.0	30.6

(6) 金利は(昨年12月頃に比べて)

「上がった」が3.8ポイント、「下がった」は0.3ポイントそれぞれ減少した。また、「変わらず」が1.4ポイント増加し83.9%となる。

業種では、「下がった」企業は卸売業、建設業が10%を超えた。

金利は	22年	21年	20年
上がった	5.5%	9.3%	23.7%
下がった	8.9	9.2	3.1
変わらず	83.9	80.3	72.0

(7) 現在の借入金利(平均)

平均金利は、「2.0%未満」が11.3ポイント増加し25.2%となり、「2.0~2.5%未満」は4.5ポイント減少し52.2%となった。また3.0%超では、0.2ポイント減少した。

階層別では、3.0%未満が昨年と同率の89.7%を占めた。

現在の借入金利	22年	21年	20年
2.0%未満	25.2%	13.9%	17.4%
2.0~2.5%未満	52.2	56.7	48.3
2.5~3.0%未満	12.3	19.1	21.2
3.0~3.5%未満	4.3	5.1	5.2
3.5~4.0%未満	1.5	1.7	3.4
4.0~4.5%未満	0.6	0.3	0.5
4.5%以上	0.8	0.3	0.4

(8) 最近 6 ヶ月間の借入申込 (借入申込実績)

「し た」が前回より 7.5 ポイント減少し、2 年振りに 50% を下回った。業種別では建設業のみ 50% 以上の借入申込をしたと回答。「しなかった」は 5.6 ポイント増加し、飲食・宿泊業、サービス業、小売業の順で多く 3 業種共 50% 以上が借入申込をしなかったと回答。

借入申込	22年	21年	20年
し た	44.4%	51.9%	50.9%
しなかった	53.3	47.7	47.9

(9) 借入の満足度

「非常に満足」が 4.2 ポイント増加し、「まあ満足」は昨年同率の 55.5%。また「不満」は 4.6 ポイント減少し、「断られた」は 0.4 ポイント増加した。

「非常に満足」「まあ満足」と回答した業種では、飲食・宿泊業、建設業、運輸業の順で高い。

借入の満足度	22年	21年	20年
非常に満足	28.0%	23.8%	24.3%
まあ満足	55.5	55.5	63.0
不満	11.8	16.4	9.1
断られた	2.8	2.4	2.2

(10) 「貸し渋り」の有無

「あ る」が前回より 2.9 ポイント減少し、「な い」は 3.9 ポイント増加した。

「あ る」を業種別でみると、運輸業、小売業、製造業、建設業の順で高い。

「貸し渋り」の有無	22年	21年	20年
あ る	25.6%	28.5%	22.4%
な い	73.6	69.7	75.6

(11) 「貸し渋り」の内容 (3 つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると「金額査定減」が 34.0 ポイント増加し 81.4%。

「保証協会の付保」34.1 ポイント、「追加融資不可」は 18.2 ポイント、「担保・保証人追加」は 18 ポイントそれぞれ増加した。

「貸し渋り」の内容	22年	21年	20年
追加融資不可	54.3%	36.1%	41.2%
金額査定減	81.4	47.4	39.7
保証協会の付保	67.1	33.0	38.2
担保・保証人の強化	31.4	13.4	19.1
審査期間の長期化、資料の増加	25.7	23.7	25.0
既往貸付の回収	22.9	14.4	14.7

金利の上乗せ	24.3	8.2	16.2
その他	0.0	2.1	0.0

その他は、既商売の理解不足があった。

(12) 借りにくい、借りられない理由 回答数構成比

「業績が思わしくない」「借入残高が多い」それぞれ3.4ポイント増加し、2項目が40%を超え主な要因と捉えている。

借りにくい、借りられない理由	22年	21年	20年
業績が思わしくない	45.7%	42.3%	42.6%
借入残高が多い	41.4	37.1	29.4
担保力がない	7.1	7.2	10.3
しっかりした保証人がいない	1.4	1.0	2.9
取引実績がない	1.4	1.0	2.9
取引実績が悪い	0.0	1.0	0.0
その他	1.4	3.1	1.5

その他は、前回借入して月日があまり経過していないこと・返済ができない、月々の返済が多い等があった。

(13) 借入返済の条件変更（希望の有無）

条件変更を「希望する」企業が、前回調査と比べ2.2ポイント減少し、「希望しない」は、3.0ポイント増加した。

条件変更を「希望する」業種では、建設業、小売業、製造業、運輸業の順で高い。

条件変更	22年	21年	20年
希望する	23.2%	25.4%	21.8%
希望しない	74.9	71.9	74.4

(14) 希望する条件変更

「元金返済の一時据置（猶予）」が5.3ポイント、「長期資金への切換」が3.1ポイント増加した。一方で「返済期間の延長」が4.6ポイント減少した。

「元金返済の一時据置（猶予）」を希望する業種は、製造業、建設業の順に多い。

希望する条件変更	22年	21年	20年
返済期間の延長	46.3%	50.9%	56.0%
長期資金への切換	24.1	21.0	22.3
元金返済の一時据置（猶予）	23.6	18.3	14.9
担保等の軽減	2.5	2.7	4.6

(15) 条件変更を希望する理由

「売上高の減少」「借入返済額過重」共に増加して各40%を超えており、条件変更を希望する理由の中では突出している。

「売上高の減少」を理由に挙げた業種は、飲食・宿泊業、サービス業、製造業、建設業で40%を超え、「借入返済額過重」では、小売業、運輸業で50%を超えている。

希望する理由	22年	21年	20年
借入返済額過重	41.4%	39.3%	37.7%
売上高の減少	47.3	46.4	37.1
借入難	2.5	1.8	5.7
経営外への資金流出	0.0	0.0	0.6
不良債権の発生	1.0	0.0	1.1
取引条件の悪化	4.9	3.1	10.3
その他	0.5	0.9	4.6

(16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「交渉次第で何とかなる」は12ポイント、「容易である」は1.2ポイントそれぞれ増加した。また「難しい」は6.9ポイント減少し、「難しい」は2年連続減少した。

条件変更の難易度は低下傾向にある。

条件変更の難易	22年	21年	20年
容易である	7.9%	6.7%	3.4%
交渉次第で何とかなる	61.6	49.6	42.3
難しい	26.1	33.0	48.6

難しい理由として、借入金融機関全ての話し合いのため・金融事情を理解している・借換えが早すぎる・メインバンクに条件変更を相談すると今後の対応が出来なくなると言われた等があった。

(17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「ある」が2.7%で、前回と比べ2.2ポイント減少している。

「ない」は96.1%と直近5年間の調査では最も高くなった。

借入金返還要求	22年	21年	20年
あ る	2.7%	4.9%	3.0%
な い	96.1	92.8	94.6

(18) 経営が著しく悪化した場合の相談先

先行きに問題が生じたとき、相談に行くところでは商工会41.7%で前回比3.4ポイント減少し、次に民間金融機関26.6%で前回比0.2ポイント減少した。

前回調査から相談先に「税理士」を加えたが、3.7ポイント増え15.5%を占めた。

相談先	22年	21年	20年
商工会	41.7%	45.1%	43.4%
商工会連合会	1.6	0.9	0.6
富山県新世紀産業機構	0.1	0.7	2.4
民間金融機関	26.6	26.8	31.7
政府系金融機関	1.8	2.7	2.9
親戚・友人・知人	7.3	5.0	7.7
税理士	15.5	11.8	
その他	1.3	1.8	5.7

その他には、県市町村窓口・FC本部・家族等があった。

4 借入計画 等

(1) 今後の借入計画(1年間)

「あ る」は前回と比べ2.6ポイントと減少している。

「あ る」を業種別にみると、運輸業、卸売業、製造業の3業種は前回に続き30%を超えている。

従業員規模別では、21人以上、11~15人、16~20人、6~10人の順で40%を超えている。

「な い」は3.9ポイント増加し72.2%となる。

「な い」は業種別では、飲食・宿泊業、サービス業、小売業、建設業で70%を超えた。

従業員規模別では、0人、1人、2人、3~5人の小規模で70%を超えている。

借入計画	22年	21年	20年
あ る	26.4%	29.0%	28.4%
な い	72.2	68.3	68.8

(2) 計画ある場合の資金使途(未記入除外、回答数構成比)

「設備資金」の資金使途では、前回調査に比べ「車両等の購入」「製造機器・ラインの増設」は増加しており、「工場・店舗等の補修・改修」は減少している。

前回追加した「新事業に取り組むための設備資金」は、7.2%の微増であった。

一方、「運転資金」では「商品・原材料の現金買い」、「他の借入返済に充当」、「新分野進出への準備金」は増加しているが、「買掛金・手形決済」は減少している。

「諸経費の支払い・納税」は横ばいになっている。

資金使途	22年	21年	22年
設 備 製造機器・ラインの増設	11.5%	6.9%	13.3%
パソコン等のIT機器	5.4	5.2	4.3

	車両等の購入	19.4	17.0	15.4
	工場・店舗等の補修・改修	12.2	17.4	15.8
	土地・建物の取得	3.6	2.0	4.7
	公害防止関係設備	0.4	0.3	1.4
	従業員福祉施設の設置	0.4	0.0	0.7
	新規事業に取組むための設備資金	7.2	6.6	
	その他	5.0	4.3	5.7
運 転	買掛金・手形決済	20.1	27.9	26.9
	諸経費の支払い・納税	25.2	25.2	23.7
	商品・原材料の現金買い	19.4	16.4	21.9
	給与・賞与等の支払い	7.6	11.5	10.0
	他の借入返済に充当	10.8	9.2	6.5
	新分野進出への準備金	7.9	2.0	2.5

その他には、財務体質の強化があった。

(3) 借入時の重視条件(2つの複数回答)

前回調査と比べ、間接条件の「日頃のつきあい」「経営上の相談指導が得られる」の伸びが大きく、直接条件の「金利が低い」「条件が有利」は共に60%を超える高い割合であった。

借入時の重視条件		22年	21年	20年
直 接 条 件	金利が低い	67.6%	60.7%	70.3%
	条件が有利	66.5	43.9	41.9
	返済期間が手頃	27.7	23.3	21.5
間 接 条 件	日頃のつきあい	50.7	24.3	24.7
	近くにあって便利	14.7	13.8	11.1
	経営上の相談指導が得られる	46.8	17.7	14.3
	サービスが良い	5.8	2.6	3.2
	その他	0.7	1.3	0.7

(4) 借入を考える場合、何が懸念されるか(2つの複数回答)

「借入後の返済力」は前回調査に比べ32.3ポイント増加し、97.5%に達した。次いで「業況の先行見通し難」も増加して2項目は引続き圧倒的に多い。

「信用保証協会の付保」「金融機関の対応」「後継者難」の伸びが大きい。

何が懸念されるか	22年	21年	20年
業況の先行見通し難	81.7%	73.4%	68.8%
借入後の返済力	97.5	65.2	65.9

連帯保証人	8.3	8.9	7.9
不動産担保余力	2.5	2.0	3.2
金融機関の対応	28.4	16.7	14.0
信用保証協会の付保	38.5	11.8	5.0
後継者難	8.6	2.3	5.4
その他	0.7	0.0	0.0
特になし	9.4	2.6	5.4

5 融資制度 等

(1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況

前回調査に比べ、「ある」は2.2ポイント減少しており、逆に「ない」が5.2ポイント増加した。

「ある」を業種別に見ると、卸売業、建設業の順で高く、2業種共50%を超えている。一方で従業員の規模別では11~15人、6~10、16~20人の順で多くそれぞれ50%を超えた。

融資制度の利用	22年	21年	20年
あ る	42.1%	44.3%	39.4%
な い	56.3	51.1	57.6

(2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか。

経営に役立っていると回答した企業は、97.5%を占めている。

経営に役立っているか	22年	21年	20年
大変役に立っている	66.2%	62.4%	60.3%
まあ役たっている	31.3	35.0	36.1
あまり役にたっていない	1.1	1.3	1.5
役にたっていない	0.9	0.9	0.8

(3) 国や県、市町村の融資制度を利用しなかった理由

前回調査に比べ、「利用する必要がない」が4.8ポイント増加している。また「メリットがない」「手続き面倒」「融資条件合致せず」「制度を知らなかった」は前回調査に比べて減少しそれぞれ5%を下回った。

「制度を知らなかった」は0.5ポイント低下した。

利用しない理由	22年	21年	20年
利用する必要がない	79.0%	74.2%	70.2%
メリットがない	0.7	2.8	1.2
手続き面倒	4.2	5.2	4.6
融資条件合致せず	4.5	6.9	5.6
制度を知らなかった	3.4	3.9	3.9

その他 3.4 2.0 2.3

その他には、以前に利用した・延滞がある・借りられる状況にない 好転する裏付けがない・返済ができない・サービスがわるい・返済期間が短い、貯蓄と二重で余計に苦しくなる・現在利用している・2年程前に銀行のすすめで借りたが特に現時点で必要ない・債務残高が多く断られた・融資毎の条件等を知らない等があった。

(4) 国の景気対応緊急保証制度(原材料価格高騰対応等緊急保証制度含む)の活用状況
 前回調査に比べ、「活用した」は0.6ポイント増加したが、「今後活用を検討している」「本制度の活用は予定していない」は減少している。

	22年	21年
活用した	9.3%	8.7%
今後活用を検討している	12.5	16.4
本制度の活用は予定していない	73.4	67.1

(5) 県・市の緊急融資の活用状況

「活用した」「今後活用を検討している」は共に前回調査に比べて減少した。

	22年	21年
活用した	12.6%	14.0%
今後活用を検討している	16.8	18.3%
本制度の活用は予定していない	65.9	59.5%

**(6) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見
 全てを記載した。**

- ・融資はしたくても恐ろしくてできません。それより、市民税や固定資産税等の優遇を考えてほしい。
- ・手続きが多い。
- ・手続きが面倒。
- ・国金は役に立つ。
- ・この制度は助かっております。今後も続けていただければと思います。
- ・無利子をお願いします。
- ・前回借入より月日が経ってなく、借入ができない。
- ・他の国では、表向きはしていないが、本国通貨の為替(レート)を操作しようと動くのに、日本は全くタッチしようとしない。これをしない限り、円高は解消されず輸出が伸び悩み、国内は不景気から脱却できない。また、大企業だけが私腹をこやし零細は大不況のまま。この状態が続けば日本の工業はいずれ落ちぶれる。
- ・売上減による申込み、今迄の借換えに際し減額され、貸し剥がしと実感した。
- ・事業所規模毎の融資枠?にとらわれず、前向きな(工場拡張)資金であればもう一步踏み込んで融資実行すべきと思う。
- ・書類作成が大変そうな気がする。

- ・景気対策の拡大と抜本的改革が急務。借入枠は拡大したが、内情は全く変化がないと思う。
- ・町に活気がなく、これ以上の発展が見込めない。特に週末には人が全く歩いていない。閉めている店が多い。ATMだけでも動いて欲しい。
- ・現在は金融公庫を活用しており、今後も引き続き活用していきたい。
- ・設備に関して、著しく古い機械等更新したい時に特別な融資制度を作って欲しい。(建物についても)
- ・融資枠の増額。
- ・中小企業に対する融資の中で、小企業に対する政府系資金の拡充支援の強化。
- ・借入手続きの簡素化を希望する。
- ・現行で満足している。
- ・もっと借入金額を増やしてほしい。
- ・全て民間にあずける。税金のむだずかい。
- ・金融機関から返済期間の延長も含め借換えを勧められましたが、今期は今のところ3%以上の売上減少又は利益減に該当しません。昨年は赤字決算で借入金も増えた分、今、返済金に苦労しております。もっと、借り換え条件を緩和して下さい。
- ・国(政府系金融機関)の融資利率が高い。国の機関として存在しているので、せめてあと0.5%は下げて頂きたいと思います。
- ・食べ物を販売している店だが、食品の危険さを知るに付け、売る品をなるべく自分で作る様にしたが、そこを理解してほしい。
- ・過去、国金を紹介していただきました。感謝しています。
- ・政府系金融機関から県信用保証協会は、条件変更には柔軟に対応するといわれるが、メインバンクから条件変更をすると今後の対応(割引手形等)が出来なくなると言われると、現状の状態を改善するのが難しい。
- ・公庫は実績重視で、今後の改善策・経営計画について聞き入れてくれない。
- ・厳しい経営環境の中で努力している企業に対して、政府系金融機関が積極的に支援しないと、地元銀行も貸し渋りに。せめて、担保を入れているのだから1年間に返済した金額だけでも前向きに融資してほしい。

(7) マル経融資(日本政策金融公庫の公的融資制度)は、21年4月から融資限度額が引き上げられ、返済期間等の拡充がされております。また、22年2月からは設備投資を利用した場合は22年9月貸付分まで当初2年間0.5%低減した金利が可能となりました。どこがメリットになりますか。

22年2月から融資制度の拡充を受け、設備資金を利用した場合の「金利低減」を項目に加えたが、今回調査で27.9%がメリットになると回答した。

	22年	21年
融資限度額の増大	22.3%	26.2%

返済期限の延長	20.1	29.0
特にメリットはない	18.7	26.3
金利の低減	27.9	-

6 最近の諸制度についておたずねいたします。

(1) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入しましたが、これらについておたずねしました。

ア、最近1年間に、信用保証協会の保証付で借入をされましたか。

最近1年間に保証付で借入をした企業は、37.5ポイントと前年比較で4.9ポイント減少した。

借入	22年	21年	20年
借入をした	37.5%	42.4%	31.6%
借入はしていない	55.6	48.5	57.6%

イ、円滑に保証手続きが進みましたか。

「円滑に保証をうけられた」と回答した企業は74.5%と前年比較で5.0ポイント増加した。一方「少し難しかった」「円滑でなく難しかった」は前年比較で4.7ポイント減少している。

	22年	21年	20年
円滑に融資がうけられた	74.5%	69.5%	73.0%
少し難しかった	21.2	25.8	21.2%
円滑でなく難しかった	3.5	3.6	4.5%
未記入	0.8	1.1	1.3%

ウ、金融機関の態度にどのような変化がありましたか。

「審査が厳しくなった」「金利が高くなった」「提出書類が増え、時間を要するようになった」は3項目の合計で37.6%と前回比較で8.6ポイント減少し、「あまり変化はなかった」は8.5ポイント増加した。

金融機関の融資態度に変化が窺われる。

	22年	21年	20年
金融機関の審査が厳しくなった	13.9%	17.3%	11.9%
融資の金利が高くなった	1.0	2.0	5.8
従来よりも提出書類が増え、 融資実行まで時間を要するようになった	22.7	26.9	21.5
あまり変化はなかった	60.1	51.6	57.6
その他	0.3	0.9	0.3

(2) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・先行き不透明感のある中、なかなか据置期間(6ヶ月~1年)を容認してもらえない現状である。中小零細企業まで外注、下請けの仕事が充分行き渡るまでは、今しばらく時間が必要と料するところがあり、もう少しそれを長いスパンで認めてもらいたい。
- ・信用保証制度と担保の関係がよくわからない。
- ・担保・保証人がなくても借入できるので便利。
- ・もっとスムーズに銀行 保証協会とでやりとりして欲しい。
- ・信保の支援は今までと変わりはないのか。支援の強化はされていない様な気がする。
- ・金融機関がOK出しても、最終的に保証協会から×になって借入出来ない事があり、タンポも出しているのに保証協会の立場がよくわからない。
- ・時間がかかりすぎ。ギリギリになってNGといわれても手のうちようがない。
- ・保証人がいなくても申込みができれば、たずかるが。
- ・銀行は信用保証協会からの減額を受けて、前回の金額より少ない金額となり約35%も少ない金額で(売上が少ないため)借換えになった。
- ・金融機関に条件変更をする場合、保証協会も含めての相談ということで交渉がますます難しくなった。前回の亀井大臣の案に期待したが、最終的には国の制度を利用していない会社ということで条件変更が出来ずがっかりした。
- ・末端の銀行は各企業の実態や経営者の取組み方がある程度理解しているが、実情の分からない保証協会は単に数字上だけで判定(より厳しく貸出をしる)をしていて、企業が存続することにより従業員が稼ぐ場があり個人消費につながる事が大変重要だと思う。
- ・金融機関が保証協会に頭が上がらない。
- ・あまり利用していないので、よくわからない。
- ・全額保証であれば金融機関はいらない。
- ・責任共有制度に関してはよくありません。金融機関との適切な責任分担を図りなどとなっておりませんが、20%分は金融機関の各会社の与信限度に入る為、借手に関してはデメリットでしかないと思われます。
- ・信用保証協会の保証付き借入の条件変更を行ったところ、ほとんどの借入が利用できなくなった。厳しい経営環境だから条件変更をお願いしたのだが、追加融資が受けなければ立ち直りの速度が遅れる一方のような気がする。
- ・条件変更をお願いした時に、融資の制度が違うからということで、5本別々に変更となったが、条件を変えるくらい苦しいのだから、1本にまとめて返済を圧縮したかった。返済をしながら、資金繰りも楽になり、良いことだと思うが、金融機関はそういう考えはないのか。
- ・県から経営革新の認定を受けていても、借入の対応は厳しかった。

(3) 「中小企業応援センター事業」の事業内容について

「相談したい」「説明をうけたい」は13.5%と前回比較で2.6ポイント減少した。(注、20～21年度は地域力連携拠点事業に対する回答。)

	22年	21年	20年
関心があり取組みについて相談したい	6.7%	8.2%	5.4%
内容に不明なところあり説明をうけたい	6.8	7.9	6.4
現在のところ特に関心がない	79.6	73.1	75.6
未記入	6.8	10.8	12.6

(4) 従業員の雇用について

「中小企業緊急雇用助成金制度」の利用状況

「制度を利用した」「今後、利用を検討している・検討したい」は合わせて22.4%となり、前回調査に比べ3.1ポイント増加している。

「制度を利用した」従業員の規模別では、16～20人が20.8%と最も多く、次いで6～10人、11～15人は同率の17.6%となっている。

	22年	21年
制度を利用した	6.1%	4.3%
制度を知っているが利用する予定はない	16.6	16.6
今後、利用を検討している	5.3	5.2
詳細に知らず、今後利用を検討したい	11.0	9.8
詳細に知らないが、利用する予定がない	50.6	51.3
その他	2.7	2.6

その他は、従業員がいない等が複数あった。

(5) 原材料や仕入れ商品の価格について

ア、原材料価格を含めた仕入・調達価格は、1年前と比較して変化しましたか。

「上昇した」は34.5%、「下落した」は11.9%となっている。

	22年
10%以上下落した	2.9%
10%未満下落した	9.0
10%以上上昇した	12.0
10%未満上昇した	22.5
変化はない	43.7

イ、原材料価格等の変化は収益に影響を及ぼしていますか。

「収益に影響した」は44.6%、「影響はほとんどない」は42%と二分した。

22年

収益を大きく圧迫している	13.3%
やや圧迫している	31.3
影響はほとんどない	42.0

ウ、原材料価格等のコスト変化分は、自社製品・サービス等の販売価格等に転嫁できていますか。

「まったく転嫁できていない」は45.9%あり、従業員の規模別では11～15人、16人～20人、2人、6～10人の順で多く、それぞれ50%を超えている。

22年

1～20%転嫁できている	22.2%
21～50%転嫁できている	4.4
51～80%転嫁できている	2.5
81～100%転嫁できている	4.4
まったく転嫁できていない	45.9

エ、原材料価格等の変化は、資金繰りに影響を及ぼしていますか。

「資金繰りが悪化した」と回答した従業員規模別では、11～15人、6～10人、3～5人、2人の順、業種別では建設業、運輸業、製造業の順となっており、いずれも30%を超えている。

22年

資金繰りが悪化した	24.8%
資金繰りに変化はない	56.5
資金繰りが好転した	0.8

(6) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 新規分野開拓を目指し経営革新の認定を受け、新商品として大手企業へ売り込みに成功したが、相手先も設備投資に加え商品開発費の削減から、市場投入時期に遅れが生じている現状である。新商品など将来業容拡大の期待される物に対しての支援を考えていただきたい。
 - ・ 中小企業にメリットがある様な情報等を教えて欲しい。困ってから相談しても遅いと思う。
 - ・ 制度のPR。
 - ・ 中小企業緊急助成制度はどんな時にどんな人が利用できるのか分かりやすく教えて欲しかった。他の企業から教えてもらって利用できたが。
 - ・ いつも協力して頂きありがたいのですが、この厳しい中で自分ところなりに頑張っているのですが、他の業種や世間はどうかのかわからず、“一般的にどうかの”が知りたい時に、今まではこうだったけど、今、現在はどうかの？が知りたい。
- 人間的（商工会）にもう少しゆとりがあればと感じる。あまりにもキカイ化され、それによ

って金で処理されがち。以前の方があたたかみも感じられた。時代とは____言え。

- ・ 条件変更を保証協会から受けた。新規運転資金が借入出来なく資金繰りに困難をきたしており、どのようにすればよいのか相談したい。
- ・ 経営革新やその他県からの承認はされていても、それが借入金の申込みをしても役立つ事がないということがわかった。又、金融機関も「それは何ですか？」と質問される事もあった。
- ・ 低金利の融資を望む。
- ・ 制度に関しては理解できるのですが、なんとなく金融機関のすすめられた……。なんかすっきりしない事が（金融機関よりの）あり、私達の窓口としてもっと商工会で力をいれてほしいと思うのですが……。
- ・ 難しい質問はなしにして欲しい。
- ・ いつも世話になり、大変助かっています。今後お願いします。
- ・ 色々な提案をもっと親身になってほしい。（いつも他人事の様気がします）
- ・ 20年以上前から継続的に指導してもらっている。今後ともお願いしたい。
- ・ 金融に関する相談会や講習会を開催してほしい。
- ・ 借入れの際には適切なアドバイスをもらっているので良好。
- ・ 借入申込み時には、迅速に対応してもらっており引続き支援願いたい。
- ・ 借入時の対応は良好ですので、今後ともよろしく願います。
- ・ 銀行サイドの視点ではなく、会員サイドに立って相談にのってほしい。
- ・ 地元の産業、街の発展に尽力をつくしてほしい。
- ・ 必要な際にはお願いするつもりです。宜しく願います。
- ・ 金融円滑化支援策は、各金融機関でまちまちな対応なのではないでしょうか。統一した基準づくりをお願いしたい。

以 上

中小企業金融実態調査集計表(全体、5ヵ年比較)

上段 実数
(下段 構成比)
N A 無記入

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
企業の概要についておたずねします	1 業種はどれにあたりますか	建設業	162 (25.2)	144 (23.6)	252 (25.6)	273 (26.0)	252 (23.9)
		製造業	123 (19.1)	127 (20.8)	233 (23.7)	208 (19.8)	207 (19.6)
		卸売業	16 (2.5)	13 (2.1)	26 (2.6)	19 (1.8)	24 (2.3)
		小売業	175 (27.2)	151 (24.8)	229 (23.3)	261 (24.8)	253 (24.0)
		飲食業・宿泊業	54 (8.4)	59 (9.7)	75 (7.6)	97 (9.2)	93 (8.8)
		サービス業	73 (11.4)	72 (11.8)	101 (10.3)	141 (13.4)	176 (16.7)
		運輸業	30 (4.7)	28 (4.6)	45 (4.6)	28 (2.7)	30 (2.8)
		その他	10 (1.6)	16 (2.6)	22 (2.2)	25 (2.4)	19 (1.8)
		N A	0 (-)	0 (-)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)
	2 創業してから何年になりますか	2年未満	5 (0.8)	4 (0.7)	5 (0.5)	15 (1.4)	11 (1.0)
		2~5年未満	20 (3.1)	22 (3.6)	31 (3.2)	37 (3.5)	41 (3.9)
		5~10年未満	35 (5.4)	41 (6.7)	44 (4.5)	65 (6.2)	71 (6.7)
		10~15年未満	44 (6.8)	39 (6.4)	59 (6.0)	77 (7.3)	86 (8.2)
		15~20年未満	56 (8.7)	59 (9.7)	79 (8.0)	113 (10.7)	91 (8.6)
		20~30年未満	116 (18.0)	106 (17.4)	163 (16.6)	172 (16.3)	182 (17.3)
		30~50年未満	221 (34.4)	199 (32.6)	354 (36.0)	337 (32.0)	341 (32.3)
		50年以上	144 (22.4)	138 (22.6)	249 (25.3)	236 (22.4)	231 (21.9)
		N A	2 (0.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)
	3 3か月以上継続雇用・パート含家族除 常時使用する従業員は何人ですか	0人	160 (24.9)	188 (30.8)	255 (25.9)	298 (28.3)	339 (32.1)
		1人	96 (14.9)	90 (14.8)	130 (13.2)	167 (15.9)	168 (15.9)
		2人	63 (9.8)	76 (12.5)	81 (8.2)	120 (11.4)	88 (8.3)
		3~5人	119 (18.5)	100 (16.4)	169 (17.2)	193 (18.3)	206 (19.5)
		6~10人	99 (15.4)	70 (11.5)	143 (14.5)	120 (11.4)	119 (11.3)
		11~15人	45 (7.0)	40 (6.6)	66 (6.7)	70 (6.7)	51 (4.8)
		16~20人	23 (3.6)	18 (3.0)	37 (3.8)	33 (3.1)	24 (2.3)
		21人以上	38 (5.9)	27 (4.4)	102 (10.4)	50 (4.8)	60 (5.7)
		N A	0 (-)	1 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 (0.0)

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
営業の状況についておたずねします	4 ここ一年間の売上高はどのくらいでしたか	500万円未満	20 (3.1)	20 (3.3)	27 (2.7)	27 (2.6)	58 (5.5)		
		500～1000万円未満	52 (8.1)	60 (9.8)	93 (9.5)	127 (12.1)	149 (14.1)		
		1000～3000万円未満	159 (24.7)	191 (31.3)	238 (24.2)	318 (30.2)	327 (31.0)		
		3000～5000万円未満	105 (16.3)	95 (15.6)	137 (13.9)	168 (16.0)	158 (15.0)		
		5000～1億円未満	115 (17.9)	108 (17.7)	172 (17.5)	180 (17.1)	154 (14.6)		
		1億円～1億5000万円未満	86 (13.4)	52 (8.5)	109 (11.1)	88 (8.4)	78 (7.4)		
		1億5000万円以上	104 (16.2)	83 (13.6)	204 (20.7)	137 (13.0)	129 (12.2)		
		N A	2 (0.3)	1 (0.2)	4 (0.4)	7 (0.7)	2 (0.2)		
		5 ここ一年間の売上高前年比較	増加	5%未満	139 (21.6)	124 (20.3)	142 (14.4)	125 (11.9)	126 (11.9)
				5～10%未満	51 (7.9)	66 (10.8)	91 (9.2)	64 (6.1)	88 (8.3)
10～20%未満	41 (6.4)			26 (4.3)	60 (6.1)	41 (3.9)	45 (4.3)		
20%以上	25 (3.9)			28 (4.6)	34 (3.5)	27 (2.6)	29 (2.7)		
減少	5%未満		157 (24.4)	125 (20.5)	202 (20.5)	201 (19.1)	222 (21.0)		
	5～10%未満		123 (19.1)	123 (20.2)	209 (21.2)	243 (23.1)	232 (22.0)		
	10～20%未満		55 (8.6)	74 (12.1)	151 (15.3)	160 (15.2)	153 (14.5)		
	20%以上以上		45 (7.0)	40 (6.6)	83 (8.4)	179 (17.0)	152 (14.4)		
N A	7 (1.1)		4 (0.7)	12 (1.2)	12 (1.1)	8 (0.8)			
6 商品の販売先工事元請	先等の取引条件		納期の短縮、支払サイトの変更等あった			51 (5.2)	49 (4.7)	38 (3.6)	
		元請等からの受注価格の引下げがあった			138 (14.0)	193 (18.3)	210 (19.9)		
		商品販売先から価格の引上げがあった			183 (18.6)	117 (11.1)	75 (7.1)		
		あまり変化はなかった			550 (55.9)	645 (61.3)	692 (65.6)		
		N A			62 (6.3)	48 (4.6)	40 (3.8)		
7 採算状況について	現在	黒字	186 (28.9)	176 (28.9)	229 (23.3)	210 (20.0)	288 (27.3)		
		収支とんとん	279 (43.4)	278 (45.6)	421 (42.8)	420 (39.9)	407 (38.6)		
		赤字	169 (26.3)	150 (24.6)	323 (32.8)	406 (38.6)	349 (33.1)		
		NA	9 (1.4)	6 (1.0)	11 (1.1)	16 (1.5)	11 (1.0)		
	1年前と比べて	好転した	79 (12.3)	75 (12.3)	66 (6.7)	69 (6.6)	123 (11.7)		
		変わらない	269 (41.8)	264 (43.3)	333 (33.8)	286 (27.2)	396 (37.5)		
		悪化した	238 (37.0)	233 (38.2)	503 (51.1)	600 (57.0)	461 (43.7)		
		わからない	23 (3.6)	14 (2.3)	31 (3.2)	31 (2.9)	36 (3.4)		
		N A	34 (5.3)	24 (3.9)	51 (5.2)	66 (6.3)	39 (3.7)		

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
営業の状況についておたずねします	8		31	33	87	122	76
	10月～12月の資金繰りはどのようになると思うか	大変苦しくなる	(4.8)	(5.4)	(8.8)	(11.6)	(7.2)
		苦しくなる	215	209	399	433	341
		変わらない	(33.4)	(34.3)	(40.5)	(41.2)	(32.3)
		楽になる	300	281	333	312	408
		(46.7)	(46.1)	(33.8)	(29.7)	(38.7)	
		わからない	17	10	8	8	39
		(2.6)	(1.6)	(0.8)	(0.8)	(3.7)	
		わからない	66	67	139	159	174
		(10.3)	(11.0)	(14.1)	(15.1)	(16.5)	
		N A	14	10	18	18	17
		(2.2)	(1.6)	(1.8)	(1.7)	(1.6)	
	9		161	173	299	420	311
	資金繰りが苦しくなる原因は2つ以内で回答	売上高が予定額に達しないため	(65.4)	(71.5)	(61.5)	(75.7)	(74.6)
		売上利益が予定額に達しないため	105	110	271	296	213
		(42.7)	(45.5)	(55.8)	(53.3)	(51.1)	
		受取手形が多くなるため	7	5	6	5	3
		(2.8)	(2.1)	(1.2)	(0.9)	(0.7)	
		受取手形の期日が長くなるため	5	4	6	7	0
		(2.0)	(1.7)	(1.2)	(1.3)	(0.0)	
	金融機関からの借入が円滑にできないため	16	11	27	49	29	
	(6.5)	(4.5)	(5.6)	(8.8)	(7.0)		
	借入返済額が大きいため	67	58	85	108	88	
	(27.2)	(24.0)	(17.5)	(19.5)	(21.1)		
	在庫品が増えるため	11	7	8	17	14	
	(4.5)	(2.9)	(1.6)	(3.1)	(3.4)		
	売上代金の回収が悪いため	14	20	35	27	25	
	(5.7)	(8.3)	(7.2)	(4.9)	(6.0)		
	焦付、貸倒的売掛が発生しているため	9	10	12	7	11	
	(3.7)	(4.1)	(2.5)	(1.3)	(2.6)		
	経費が増大しているため	50	36	147	73	46	
	(20.3)	(14.9)	(30.2)	(13.2)	(11.0)		
	その他(具体的に)	7	7	12	10	6	
	(2.8)	(2.9)	(2.5)	(1.8)	(1.4)		
	N A	2	2	4	5	8	
	(0.8)	(0.8)	(0.8)	(0.9)	(1.9)		
金融機関との取引	10		114	116	183	215	243
	ありましたか	100万円未満	(17.7)	(19.0)	(18.6)	(20.4)	(23.0)
		100～300万円未満	138	148	230	264	252
		(21.5)	(24.3)	(23.4)	(25.1)	(23.9)	
		300～500万円未満	92	103	135	156	171
		(14.3)	(16.9)	(13.7)	(14.8)	(16.2)	
		500～1000万円未満	111	99	134	168	140
		(17.3)	(16.2)	(13.6)	(16.0)	(13.3)	
		1000～3000万円未満	98	81	133	130	146
		(15.2)	(13.3)	(13.5)	(12.4)	(13.8)	
		3000～5000万円未満	27	17	54	38	35
		(4.2)	(2.8)	(5.5)	(3.6)	(3.3)	
		5000～1億円未満	20	19	41	25	37
	(3.1)	(3.1)	(4.2)	(2.4)	(3.5)		
	1億円以上	16	11	37	21	9	
	(2.5)	(1.8)	(3.8)	(2.0)	(0.9)		
	N A	27	16	37	35	22	
	(4.2)	(2.6)	(3.8)	(3.3)	(2.1)		
金融機関	11		138	142	126	132	210
	増	5%未満	(21.5)	(23.3)	(12.8)	(12.5)	(19.9)
	加	5～10%未満	43	39	47	66	68
		(6.7)	(6.4)	(4.8)	(6.3)	(6.4)	
	10～15%未満	11	9	17	20	16	
	(1.7)	(1.5)	(1.7)	(1.9)	(1.5)		
	15%～20%未満	7	4	10	10	15	
	(1.1)	(0.7)	(1.0)	(1.0)	(1.4)		

関 と の 取 引 及 び 借 入 状 況 に つ い て	べ、 預 金 は 増 加 し ま し た か	減 少	20%以上	(2.5)	16	(3.0)	18	(4.3)	42	(2.8)	29	(2.7)	29
			5%未満	(31.9)	205	(29.3)	179	(29.9)	294	(28.3)	298	(30.0)	316
			5~10%未満	(15.1)	97	(17.2)	105	(18.6)	183	(18.4)	194	(18.5)	195
			10~15%未満	(6.2)	40	(4.4)	27	(7.9)	78	(8.8)	93	(5.6)	59
			15%~20%未満	(3.6)	23	(2.1)	13	(4.1)	40	(4.4)	46	(2.7)	29
			20%以上	(5.9)	38	(8.2)	50	(10.2)	100	(12.3)	129	(8.9)	94
			N A	(3.9)	25	(3.9)	24	(4.8)	47	(3.3)	35	(2.3)	24
	12	あり まし た か	0		28		32		—		—		—
	今 年 6 月 末 の 借 入 額 は ど の く ら い	100万円未満	(4.4)		(5.2)		51	(4.4)	46	(7.2)	76		
		100~ 300万円未満	(10.0)	64	(7.2)	44	(8.5)	84	(10.7)	113	(13.1)	138	
		300~ 500万円未満	(6.5)	42	(10.0)	61	(9.0)	89	(9.1)	96	(8.7)	92	
		500~ 1000万円未満	(12.8)	82	(14.9)	91	(10.7)	105	(12.7)	134	(12.0)	127	
		1000~ 3000万円未満	(25.3)	163	(26.4)	161	(18.8)	185	(22.5)	237	(20.0)	211	
3000~ 5000万円未満		(12.3)	79	(10.3)	63	(10.4)	102	(11.0)	116	(10.2)	108		
5000~ 1億円未満		(11.0)	71	(6.4)	39	(9.5)	93	(7.5)	79	(7.2)	76		
1億円以上		(5.1)	33	(6.9)	42	(9.3)	92	(5.9)	62	(4.5)	48		
なし		(10.6)	68	(10.5)	64	(15.1)	149	(13.4)	141	(15.6)	165		
N A		(2.0)	13	(2.1)	13	(3.5)	34	(2.7)	28	(1.3)	14		

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
金 融 機 関 と の 取 引 及 び 借 か	13 現 在 の 借 入 先 は ど こ で す か	普通銀行	(75.1) 422	(66.4) 405	(82.4) 660	(77.6) 685	(76.1) 667
	多 い 順 に 3 つ	(都市銀行)	(2.7) 15	(2.1) 13	(4.2) 34	(2.2) 19	(2.3) 20
		(地方銀行)	(58.4) 328	(53.8) 328	(66.3) 531	(66.5) 587	(65.9) 577
		(第二地方銀行)	(14.2) 79	(10.5) 64	(11.9) 95	(8.9) 79	(8.0) 70
		信用金庫	(40.4) 227	(34.9) 213	(39.1) 313	(38.7) 342	(37.7) 330
	信用組合	(8.4) 47	(7.5) 46	(8.4) 67	(9.1) 80	(10.8) 95	
	日本政策金融公庫 (旧国金)	(60.0) 337	(45.6) 278	(41.3) 331	(41.8) 369	(36.8) 322	
	日本政策金融公庫 (旧中小公庫)	(3.9) 22	(3.3) 20	(5.4) 43	(6.9) 61	(9.6) 84	
	商工組合 中央金庫	(1.6) 9	(2.3) 14	(3.5) 28	(2.8) 25	(1.9) 17	
	農協	(5.7) 32	(5.1) 31	(4.0) 32	(5.2) 46	(4.7) 41	
	その他	(2.7) 15	(3.3) 20	(4.0) 32	(3.3) 29	(2.7) 24	
	N A	(1.4) 8	(0.7) 4	(0.4) 3	(0.3) 3	(0.8) 7	

入 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	14	ふえた	(32.4)	182	(30.0)	183	(33.2)	266	(39.9)	352	(27.6)	242	
	借 入 額 は 比 べ て 昨 年	12月	変わらない	(28.3)	159	(28.7)	175	(30.6)	245	(26.0)	230	(27.4)	240
		減った	(38.6)	217	(29.8)	182	(35.6)	285	(33.9)	299	(44.3)	388	
		N A	(0.7)	4	(11.5)	70	(0.6)	5	(0.2)	2	(0.7)	6	
		15	上がった	(29.0)	163	(26.9)	164	(23.7)	190	(9.3)	82	(5.5)	48
	金 利 は 比 べ て 昨 年	12月	変わらない	(68.1)	383	(57.5)	351	(72.0)	577	(80.3)	709	(83.9)	735
		下がった	(2.0)	11	(2.6)	16	(3.1)	25	(9.2)	81	(8.9)	78	
		N A	(0.9)	5	(13.0)	79	(1.1)	9	(1.2)	11	(1.7)	15	
		16	2.0%未満	(22.2)	125	(11.6)	71	(17.4)	139	(13.9)	123	(25.2)	221
	平 均 借 入 金 利 は ど の	2.0~	2.5%未満	(44.5)	250	(43.1)	263	(48.3)	387	(56.7)	501	(52.2)	457
		2.5~	3.0%未満	(20.5)	115	(20.7)	126	(21.2)	170	(19.1)	169	(12.3)	108
		3.0~	3.5%未満	(4.8)	27	(6.2)	38	(5.2)	42	(5.1)	45	(4.3)	38
		3.5~	4.0%未満	(2.5)	14	(2.3)	14	(3.4)	27	(1.7)	15	(1.5)	13
		4.0~	4.5%未満	(0.7)	4	(1.5)	9	(0.5)	4	(0.3)	3	(0.6)	5
		4.5~	5.0%未満										
		5.0~	5.5%未満	(0.5)	3	(0.2)	1	(0.4)	3	(0.3)	3	(0.8)	7
5.5~		6.0%未満											
N A		(4.3)	24	(14.4)	88	(3.6)	29	(2.7)	24	(3.1)	27		

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度						
金 融 機 関 と の 取 引 及 び	17	申込した	(54.3)	305	(45.7)	279	(50.9)	408	(51.9)	458	(44.4)	389
	最 近 6 ヶ 月	申込しなかった	(44.5)	250	(43.0)	262	(47.9)	384	(47.7)	421	(53.3)	467
		N A	(1.2)	7	(11.3)	69	(1.1)	9	(0.5)	4	(2.3)	20
		18	非常に満足した	(28.9)	88	(22.2)	62	(24.3)	99	(23.8)	109	(28.0)
	借 入 は 満 足 で き る か	まあ満足した	(58.0)	177	(68.1)	190	(63.0)	257	(55.5)	254	(55.5)	216
		満足できなかった	(9.2)	28	(6.5)	18	(9.1)	37	(16.4)	75	(11.8)	46
		ことわられた	(1.6)	5	(1.4)	4	(2.2)	9	(2.4)	11	(2.8)	11
		N A	(2.3)	7	(1.8)	5	(1.5)	6	(2.0)	9	(1.8)	7
	19	ある	(26.7)	56	(16.0)	34	(22.4)	68	(28.5)	97	(25.6)	70
	貸 し 渋 り を 感 じ る か	ない	(72.4)	152	(81.6)	173	(75.6)	229	(69.7)	237	(73.6)	201
N A		(1.0)	2	(2.4)	5	(2.0)	6	(1.8)	6	(0.7)	2	

借入状況についておたずねします	20 貸し渋りの内容はなんですか 3つ以内でお答えください	金額査定減	(39.3)	22	(38.2)	13	(39.7)	27	(47.4)	46	(81.4)	57
		追加融資不可	(53.6)	30	(41.2)	14	(41.2)	28	(36.1)	35	(54.3)	38
		既往貸付の回収	(21.4)	12	(38.2)	13	(14.7)	10	(14.4)	14	(22.9)	16
		金利の上乗せ	(10.7)	6	(20.6)	7	(16.2)	11	(8.2)	8	(24.3)	17
		担保・保証人の強化	(26.8)	15	(11.8)	4	(19.1)	13	(13.4)	13	(31.4)	22
		保証協会の付保	(44.6)	25	(29.4)	10	(38.2)	26	(33.0)	32	(67.1)	47
		審査期間の長期化 審査資料の増加	(12.5)	7	(14.7)	5	(25.0)	17	(23.7)	23	(25.7)	18
		その他	(-)	0	(2.9)	1	(8.8)	6	(2.1)	2	(0.0)	0
		N A	(11.8)	1	(-)	0	(0.0)	0	(6.2)	6	(0.0)	0
	21 借りにくい・借りられない理由はなんですか	取引実績がない	(-)	0	(-)	0	(2.9)	2	(1.0)	1	(1.4)	1
		担保力がない	(8.9)	5	(5.9)	2	(10.3)	7	(7.2)	7	(7.1)	5
		しっかりした保証人がいない	(-)	0	(-)	0	(2.9)	2	(1.0)	1	(1.4)	1
		取引実績が悪い	(7.1)	4	(2.9)	1	(0.0)	0	(1.0)	1	(0.0)	0
		借入残高が多い	(55.4)	31	(70.6)	24	(29.4)	20	(37.1)	36	(41.4)	29
		業績が思わしくない	(23.2)	13	(20.6)	7	(42.6)	29	(42.3)	41	(45.7)	32
		その他	(3.6)	2	(-)	0	(1.5)	1	(3.1)	3	(1.4)	1
		N A	(1.8)	1	(-)	0	(10.3)	7	(7.2)	7	(1.4)	1

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度						
金融機関との取引及び借入	22 条件変更を希望するか	希望する	(20.6)	116	(15.6)	95	(21.8)	175	(25.4)	224	(23.2)	203
		希望しない	(76.3)	429	(71.1)	434	(74.4)	596	(71.9)	635	(74.9)	656
		N A	(3.0)	17	(13.3)	81	(3.7)	30	(2.7)	24	(1.9)	17
	23 希望の条件変更は	元金の一時据置	(16.4)	19	(15.8)	15	(14.9)	26	(18.3)	41	(23.6)	48
		返済期間の延長	(49.1)	57	(44.2)	42	(56.0)	98	(50.9)	114	(46.3)	94
		長期資金への切替	(25.9)	30	(32.6)	31	(22.3)	39	(21.0)	47	(24.1)	49
		担保等の軽減	(5.2)	6	(2.1)	2	(4.6)	8	(2.7)	6	(2.5)	5
		N A	(3.4)	4	(5.3)	5	(2.3)	4	(7.1)	16	(3.4)	7
	24 条件変更を希望する	不良債権の発生	(0.9)	1	(1.1)	1	(1.1)	2	(0.0)	0	(1.0)	2
		売上の急激な減少	(32.8)	38	(33.7)	32	(37.1)	65	(46.4)	104	(47.3)	96
借入難		(6.9)	8	(3.2)	3	(5.7)	10	(1.8)	4	(2.5)	5	
借入返済額が過重		(46.6)	54	(51.6)	49	(37.7)	66	(39.3)	88	(41.4)	84	
取引条件の悪化		(5.2)	6	(6.3)	6	(10.3)	18	(3.1)	7	(4.9)	10	

状況についておたずねいたしました	理由は	経営外への資金流失	(0.9)	1	(1.1)	1	(0.6)	1	(0.0)	0	(0.0)	0
		その他	(1.7)	2	(-)	0	(4.6)	8	(0.9)	2	(0.5)	1
		N A	(5.2)	6	(3.2)	3	(2.9)	5	(8.5)	19	(2.5)	5
	25	容易である	(4.3)	5	(4.2)	4	(3.4)	6	(6.7)	15	(7.9)	16
	条変の難易は	交渉次第で何とかなる	(51.7)	60	(52.6)	50	(42.3)	74	(49.6)	111	(61.6)	125
		難しい	(36.2)	42	(36.8)	35	(48.6)	85	(33.0)	74	(26.1)	53
		N A	(7.8)	9	(6.3)	6	(5.7)	10	(10.7)	24	(4.4)	9
		26	ある	(4.3)	24	(3.6)	22	(3.0)	24	(4.9)	43	(2.7)
	借金の返還	ない	(93.1)	523	(84.4)	515	(94.6)	758	(92.8)	819	(96.1)	842
		N A	(2.7)	15	(12.0)	73	(2.4)	19	(2.4)	21	(1.1)	10
		27	商工会	(52.0)	292	(48.4)	295	(43.4)	348	(45.1)	398	(41.7)
	大きな問題が生じた時の相談先	県商工会連合会の相談窓口	(1.1)	6	(0.5)	3	(0.6)	5	(0.9)	8	(1.6)	14
		富山県新世紀産業機構	(1.8)	10	(0.8)	5	(2.4)	19	(0.7)	6	(0.1)	1
		民間金融機関	(29.0)	163	(24.9)	152	(31.7)	254	(26.8)	237	(26.6)	233
		政府系金融機関	(3.2)	18	(2.1)	13	(2.9)	23	(2.7)	24	(1.8)	16
		親戚・友人・知人	(6.8)	38	(5.9)	36	(7.7)	62	(5.0)	44	(7.3)	64
		税理士							(11.8)	104	(15.5)	136
		その他	(3.2)	18	(4.1)	25	(5.7)	46	(1.8)	16	(1.3)	11
		N A	(3.0)	17	(13.3)	81	(5.5)	44	(5.2)	46	(4.1)	36

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度						
借入計画についておた	28 今後1年間 借入計画	ある	(32.5)	209	(26.2)	160	(28.4)	279	(29.0)	305	(26.4)	278
		ない	(65.9)	424	(72.6)	443	(68.8)	677	(68.3)	718	(72.2)	762
		N A	(1.6)	10	(1.1)	7	(2.8)	28	(2.8)	29	(1.4)	15
設備資金の用途は何か	29	土地建物の取得	(4.3)	9	(8.1)	13	(4.7)	13	(2.0)	6	(3.6)	10
		工場・店舗等の改修・補修	(21.1)	44	(16.3)	26	(15.8)	44	(17.4)	53	(12.2)	34
		パソコン等のIT機器	(2.9)	6	(1.3)	2	(4.3)	12	(5.2)	16	(5.4)	15
		製造機器・ライン増設	(4.8)	10	(8.8)	14	(13.3)	37	(6.9)	21	(11.5)	32
		車両等の購入	(12.9)	27	(15.6)	25	(15.4)	43	(17.0)	52	(19.4)	54
		従業員の福祉施設の設置	(-)	0	(-)	0	(0.7)	2	(0.0)	0	(0.4)	1
		公害防止関係設備	(1.4)	3	(1.3)	2	(1.4)	4	(0.3)	1	(0.4)	1
		新事業に取り組むための設備資金							(6.6)	20	(7.2)	20

ず ね い た し ま す	30	その他	7	1	16	13	14	
			(3.3)	(0.6)	(5.7)	(4.3)	(5.0)	
		N A	103	77	108	123	97	
			(49.3)	(48.1)	(38.7)	(40.3)	(34.9)	
		商品原材料の 現金買	48	25	61	50	54	
			(23.0)	(15.6)	(21.9)	(16.4)	(19.4)	
		買掛・手形の 決済	71	54	75	85	56	
			(34.0)	(33.8)	(26.9)	(27.9)	(20.1)	
	31	2つ以内で回答	諸経費の支払い、 納税	42	35	66	77	70
				(20.1)	(21.9)	(23.7)	(25.2)	(25.2)
			賞与・給与の 支払い	17	12	28	35	21
				(8.1)	(7.5)	(10.0)	(11.5)	(7.6)
			他の借入返済に 充当	12	18	18	28	30
				(5.7)	(11.3)	(6.5)	(9.2)	(10.8)
			新分野進出への 準備資金	4	2	7	6	22
				(1.9)	(1.3)	(2.5)	(2.0)	(7.9)
	借入の 時何を重視 しますか	2つ以内で回答	N A	15	14	24	24	25
				(7.2)	(8.8)	(8.6)	(7.9)	(9.0)
			近くで便利	30	28	31	42	41
			(14.4)	(17.5)	(11.1)	(13.8)	(14.7)	
金利が低い			119	106	196	185	188	
			(56.9)	(66.3)	(70.3)	(60.7)	(67.6)	
返済期間が手頃			51	34	60	71	77	
			(24.4)	(21.3)	(21.5)	(23.3)	(27.7)	
条件が有利			86	68	117	134	185	
			(41.1)	(42.5)	(41.9)	(43.9)	(66.5)	
サービスがよい	5	9	9	8	16			
	(2.4)	(5.6)	(3.2)	(2.6)	(5.8)			
経営上の相談・指導 が得られる	40	26	40	54	130			
	(19.1)	(16.3)	(14.3)	(17.7)	(46.8)			
日ごろの付合い	50	31	69	74	141			
	(23.9)	(19.4)	(24.7)	(24.3)	(50.7)			
その他	3	1	2	4	2			
	(1.4)	(0.6)	(0.7)	(1.3)	(0.7)			
N A	5	1	7	5	10			
	(2.4)	(0.6)	(2.5)	(1.6)	(3.6)			

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
借入計画 について	32 借入の際何が懸念されますか 2つ以内で回答	業況の先行き 見通し難	126	108	192	224	227
			(60.3)	(67.5)	(68.8)	(73.4)	(81.7)
		借入後の返済力	115	97	184	199	271
			(55.0)	(60.6)	(65.9)	(65.2)	(97.5)
		不動産担保余力	6	1	9	6	7
			(2.9)	(0.6)	(3.2)	(2.0)	(2.5)
		連帯保証人	42	22	22	27	23
			(20.1)	(13.8)	(7.9)	(8.9)	(8.3)
		金融機関の対応	44	28	39	51	79
			(21.1)	(17.5)	(14.0)	(16.7)	(28.4)
信用保証協会の付保	12	9	14	36	107		
	(5.7)	(5.6)	(5.0)	(11.8)	(38.5)		
後継者難	6	4	15	7	24		
	(2.9)	(2.5)	(5.4)	(2.3)	(8.6)		
その他	0	0	0	0	2		
	(-)	(-)	(0.0)	(0.0)	(0.7)		
特になし	11	13	15	8	26		
	(5.3)	(8.1)	(5.4)	(2.6)	(9.4)		
N A	5	3	9	4	10		
	(2.4)	(1.9)	(3.2)	(1.3)	(3.6)		
融	33 融資制 過去1	あ る	319	285	388	466	444
			(49.6)	(46.7)	(39.4)	(44.3)	(42.1)
	な い	311	316	567	538	594	
		(48.4)	(51.8)	(57.6)	(51.1)	(56.3)	

資 制 度 に つ い て	年 の 利 用 34 融 資 制 度 は 経 営 に 役		-	-	(0.0)	(0.0)	(0.0)	0
		N A	13	9	29	48	17	
			(2.0)	(1.5)	(2.9)	(4.6)	(1.6)	
		大変役にたっている	174	175	234	291	294	
			(54.5)	(61.4)	(60.3)	(62.4)	(66.2)	
		まあ役にたっている	139	103	140	163	139	
	(43.6)	(36.1)	(36.1)	(35.0)	(31.3)			
あまり役に たっていない	3	4	6	6	5			
	(0.9)	(1.4)	(1.5)	(1.3)	(1.1)			
役にたっていない	0	3	3	4	4			
	(-)	(1.1)	(0.8)	(0.9)	(0.9)			
N A	3	0	5	2	2			
	(0.9)	(-)	(1.3)	(0.4)	(0.5)			
融 資 制 度 等 に つ い て お た ず ね し ま す	35 国・ 県・ 市 町 村 の 融 資 制 度 を 利 用 さ れ な か つ た 理 由	利用する 必要がなかった	236	221	398	399	469	
			(75.9)	(69.9)	(70.2)	(74.2)	(79.0)	
		メリットがない	5	7	7	15	4	
			(1.6)	(2.2)	(1.2)	(2.8)	(0.7)	
		手続きが面倒だから	14	28	26	28	25	
			(4.5)	(8.9)	(4.6)	(5.2)	(4.2)	
		融資の条件に 合致しないから	13	18	32	37	27	
			(4.2)	(5.7)	(5.6)	(6.9)	(4.5)	
		制度融資を 知らなかった	10	10	22	21	20	
			(3.2)	(3.2)	(3.9)	(3.9)	(3.4)	
		その他	10	6	13	11	20	
			(3.2)	(1.9)	(2.3)	(2.0)	(3.4)	
		N A	23	26	69	27	29	
			(7.4)	(8.2)	(12.2)	(5.0)	(4.9)	
36 国 の 緊 急 保 証	活用した				91	98		
					(8.7)	(9.3)		
	今後活用を検討				173	132		
					(16.4)	(12.5)		
本制度の活用は予定していない				706	774			
				(67.1)	(73.4)			
N A				82	51			
				(7.8)	(4.8)			
37 県 市 の 緊 急 融 資	活用した				147	133		
					(14.0)	(12.6)		
	今後活用を検討				192	177		
					(18.3)	(16.8)		
本制度の活用は予定していない				626	695			
				(59.5)	(65.9)			
N A				87	50			
				(8.3)	(4.7)			
39 マ ル 経 融 資 制 度 改 正	融資限度額の増大				276	235		
					(26.2)	(22.3)		
	返済期間の延長				305	212		
					(29.0)	(20.1)		
	特にメリットはない				277	197		
				(26.3)	(18.7)			
N A				194	117			
				(18.4)	(11.1)			
金利の低減				-	294			
				(-)	(27.9)			

最 近 の	40 信 用 保	(1) 借 入 実 行	借入した	100	111	311	446	396
				(15.6)	(18.2)	(31.6)	(42.4)	(37.5)
			借入はしていない	527	475	567	510	587
			(82.0)	(77.9)	(57.6)	(48.5)	(55.6)	
		N A	16	24	106	96	72	
	(2.5)	(3.9)	(10.8)	(9.1)	(6.8)			
(2) 手	円滑に融資がうけられた			227	310	295		
				(73.0)	(69.5)	(74.5)		

諸制度	証 制 度 の	続 き に つ い て			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
			少し難しかった						
							66 (21.2)	115 (25.8)	84 (21.2)
							14 (4.5)	16 (3.6)	14 (3.5)
			N A				4 (1.3)	5 (1.1)	3 (0.8)
区 分			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
最近の諸制度についておたずねします	申 込 状 況	(3) 金 融 機 関 の 審 査 が 厳 し く な っ た	金融機関の審査が厳しくなった			37 (11.9)	77 (17.3)	55 (13.9)	
			融資の金利が高くなった			18 (5.8)	9 (2.0)	4 (1.0)	
			従来より提出書類が増え 実行まで時間を要する			67 (21.5)	120 (26.9)	90 (22.7)	
			あまり変化はなかった			179 (57.6)	230 (51.6)	238 (60.1)	
			その他					1 (0.3)	
			N A			10 (3.2)	10 (2.2)	8 (2.0)	
			42	関心があり取組みに相談したい			53 (5.4)	86 (8.2)	71 (6.7)
	中 小 企 業 心 援	セ ン タ ー 事 業	内容に不明あり説明受けたい			63 (6.4)	83 (7.9)	72 (6.8)	
			現在のところ関心ない			744 (75.6)	769 (73.1)	840 (79.6)	
			N A			124 (12.6)	114 (10.8)	72 (6.8)	
	緊 急 雇 用 助 成 金 制 度	の 利 用 状 況 に つ い て	制度を利用した				45 (4.3)	64 (6.1)	
			制度を知っているが利用しない				175 (16.6)	175 (16.6)	
			今後利用を検討				55 (5.2)	56 (5.3)	
			詳細に知らず今後利用を検討				103 (9.8)	116 (11.0)	
			詳細に知らないが利用する予定ない				540 (51.3)	534 (50.6)	
			その他				27 (2.6)	29 (2.7)	
			N A				107 (10.2)	81 (7.7)	
	原 材 料 や 仕 入 れ 価 格 の 変 化 に つ い て	(1) 1 年 前 比 較	10%以上下落した					31 (2.9)	
			10%未満下落した					95 (9.0)	
			10%以上上昇した					127 (12.0)	
			10%未満上昇した					237 (22.5)	
			変化はない					461 (43.7)	
N A							104 (9.9)		
(2) 収 益 へ の 影 響		収益を大きく圧迫している					140 (13.3)		
		やや圧迫している					330 (31.3)		
		影響はほとんどない					443 (42.0)		
		N A					142 (13.5)		

(3) 価格への転嫁は	1～20%転嫁できている					(22.2)	234
	21～50%転嫁できている					(4.4)	46
	51～80%転嫁できている					(2.5)	26
	81～100%転嫁できている					(4.4)	46
	まったく転嫁できていない					(45.9)	484
	NA					(20.8)	219
(4) 資金への影響	資金繰りが悪化した					(24.8)	262
	資金繰りに変化はない					(56.5)	596
	資金繰りが好転した					(0.8)	8
	NA					(17.9)	189